

岡山地域勉強会 R3年度 10月度定例会 (議事録)
【2021年度第4回合同地域勉強会として開催】

1.日 時：2021年10月20日(水)19時00分～20時30分

2.場 所：各受講者端末前(テレビ会議システム「Zoom」を活用)

3.出席者：52名

4.議事内容：

(1) 講演

テーマ：「放送関係者が災害発生時にどのような報道を心掛けているか」

講 師：福本 晋悟 氏/MBS 毎日放送アナウンサー

阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター特別研究調査員、防災士

内 容：新型コロナウイルスの影響が続いており、BCPの教育・訓練もなかなか取り組みづらい状況が続いており、教育・訓練に使えるオンライン型による災害対策本部演習を実施し、企業での教育・訓練への活用方法について解説を行った。

(2) 意見交換(質問内容は以下の通り)

- ・災害発生時にはアナウンサーの方が同じ内容の報道を繰り返し繰り返しアナウンスされますが、繰り返す回数や繰り返す時間の長さはどうな判断にもとづいているのでしょうか。
- ・ニューステロップで、津波の心配の有無が出されることがあります。誰が判断しているのですか？すぐに情報が出せるのはなぜですか？
- ・災害時はインターネット、SNSからの情報も多いと思いますが、流言・噂、あるいはフェイクも多数混じっていると思います。どのようにチェック、選別をされていますか。
- ・今は、放送局はSPECTEEの情報をトリガーとして災害や事故の取材を始めるようになったと聞きますが、そうなのでしょうか？
- ・緊急報道の元データは何を使われていますか？
- ・災害放送訓練の中で放送局の被害状況に合わせてどのような訓練をされているのでしょうか。
- ・大津波警報では、気象庁は、東日本大震災の教訓として、津波高を数字で示さず、巨大などの漠然とした表現にしたと思いますが、それは放送訓練ではどのように反映されているのでしょうか。
- ・災害地に出動することの危険をどのレベルでやめさせるのかなど指標はあるのでしょうか？今はドローンなどで撮影できると思うのですが、そちらに切り替えていっているのでしょうか。
- ・出勤ではなく出動です。津波の近くで取材するとか台風がきている波際で取材をしている映像を見るので、そういった人たちは行けと言われたら行かなければいけないのか、使命感で行っていると思いますが、その人が被害にあった場合の安全を考えると何かこれはやばいからやめとけというような指標があるのでしょうか。
- ・熱海の土砂災害は人災の要素が濃くなりました。昨日熱海市は静岡県よりもわかりやすい報告をだしています。

この問題は事故が出ると騒がれ一定の時期をへて忘れられます。

盛土による土砂災害の危険箇所は全国に数え切れなく存在するようです。報道機関の社会性を試される案件だと思えます。どのようにお考えでしょうか？

- 今日の阿蘇山噴火（11:45 頃）は、NHK は特番になっていましたが、他在京局は通常の番組でした。これは各局に考え方の相違なのでしょうか？ 凄く違和感を感じました。
- 大阪湾の高潮広域タイムライン（事前防災行動計画）で防災関係機関が連携して防災行動を時系列に整理されています。国や都道府県の広域タイムライン、市町村タイムライン、コミュニティタイムライン及び災害ステージごとに、報道機関がどのように連携して地域に報道されていくか、そこで課題になることは何でしょうか？
- 津波注意報や津波警報など、避難対象範囲に限られる場合でも、メディアでは全視聴者に対しての発信となるので安全サイドに考えた内容となると思いますが、あまりにも過剰な避難の呼びかけ・恐怖をあおる呼びかけになると、避難の必要がない方も行政が避難所を開設していない状況で避難をしてしまう可能性があります。また、商業施設においては避難の必要がない状況でもメディアの避難呼びかけを見てお客様が避難しようしたり、避難誘導しない商業施設管理者に対して不信感を持つ可能性があります。加減が難しいですね。
- 視聴者に行動を促す報道があると思いますが、これを実現するために、他の機関と連携することはありますか？
- 呼びかけの内容として、テレビ、ラジオ、ネットでどのようなすみ分けをしていますか？ 内容は異なりますか？
- 先ほどありました質問に対する追加質問です。
SNS で入ってくる情報、確認のために取材をされるということですが、例えば、火が付いて、あと 10 分ほどで爆発の可能性がある。爆発すると地域住民をまきこむ可能性があるという等、切羽詰まった状況の中で、避難を呼びかけるべきかやはり取材をして確認すべきか。手遅れになる場合があるという状況でも取材を優先するのでしょうか。こういう切羽詰まった状況の時はどうされるのかお聞きしたい。
- 報道を止めないために局としてどのような備えをされていますか。万が一、放送が継続できなくなった場合の代替機能は準備されていますか。
- BCP 代替手段確保ですね。
- 福知山脱線事故から報道のダブリをなくすように聞いていましたが、関西では先ほど協定がないといわれましたので、映像も共有しないということでしょうか。
- 災害時にヘリの音がうるさく救出の邪魔になるとの意見をネットでよく見かけますが、実際にテレビ局に消防や自衛隊から具体的な苦情が来ることはあるのでしょうか？ また、そのような面で配慮をされているのであればどのようなことをされているのかお聞かせください。
- 南海トラフ半割れ後、何事も無く 1 週間以上経過した後の報道文案は用意されていますか？

以上